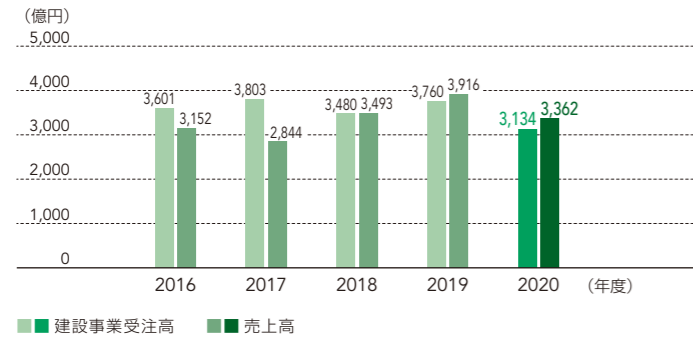


財務・非財務ハイライト

財務

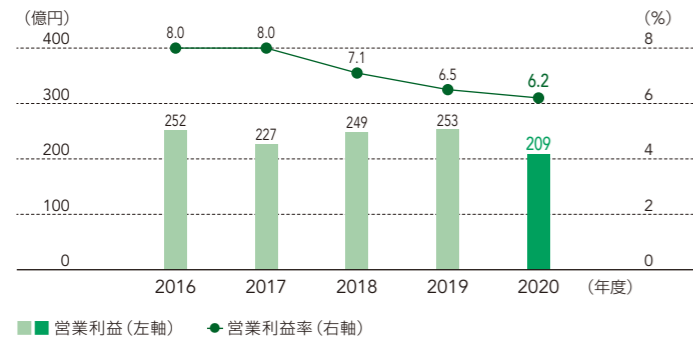
受注高／売上高(連結ベース)



増減要因・解説

新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間建設投資が減少したことおよび海外において案件の出件延期があったことから、2020年度の国内建築・海外受注高は減少しました。また、売上高についても、2020年度は新規受注工事の減少および大型土木工事の進捗低下等により計画を下回る結果となりました。

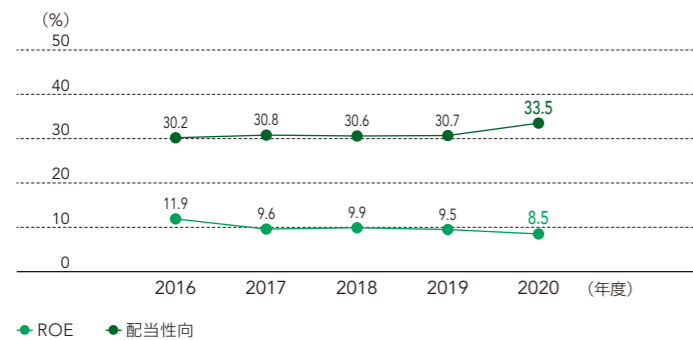
営業利益／営業利益率(連結ベース)



増減要因・解説

2018・2019年度は高収益工事が順調に進捗したこともあり、計画を上回る水準で推移しました。2020年度は、建設事業での設計変更交渉の難航、完成工事高の落ち込みにより、計画を下回る結果となりました。また、2019・2020年度は一部低採算大型工事の影響により、営業利益率が低下する結果となりました。

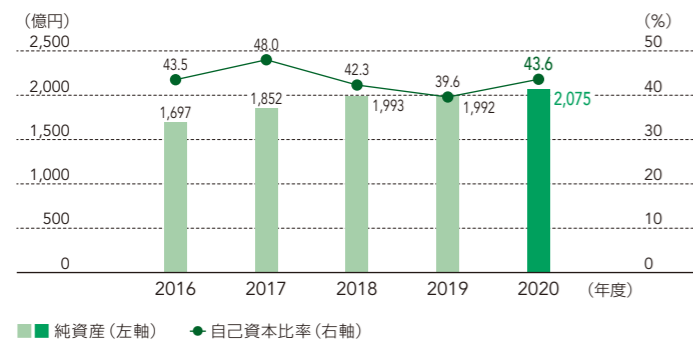
ROE／配当性向(連結ベース)



増減要因・解説

2018・2019年度は、建設事業の利益向上によりROEは8%以上を達成しました。2020年度は、営業利益の目標未達と、瑕疵補修に伴う多額の特別損失が発生したものの、政策保有株式売却益の計上により、結果的に8%以上を確保しました。「中期経営計画2020」の間中は、配当性向30%以上かつ1株あたり105円の安定的な株主配当を実施しました。

純資産／自己資本比率(連結ベース)

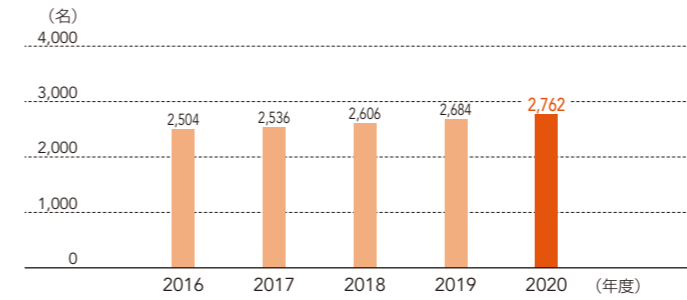


増減要因・解説

資本効率と財務健全性を意識したバランスシートマネジメントを試みましたが、2018年度から建設の完成工事未収入金が大きく増加し、有利子負債で資金調達を行ったため、「中期経営計画2020」期間中は自己資本比率40%程度の水準で推移しました。なお、純資産は2,000億円程度を維持しています。

非財務

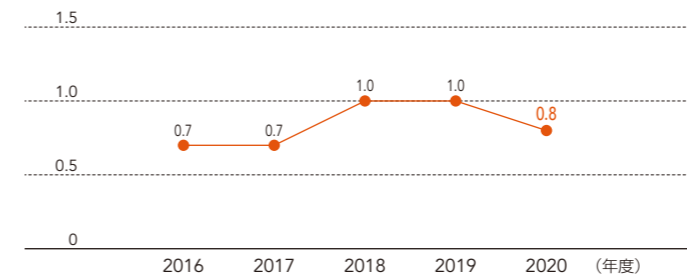
従業員数



増減要因・解説

長期ビジョン「西松-Vision2027」において人財戦略を重点項目として位置づけ、「新しい価値をつくる総合力企業」への変革を支える人財育成に努めています。また、新卒採用に加え中途採用にも積極的に取り組むことにより、事業戦略上必要な人財の確保を実現しています。

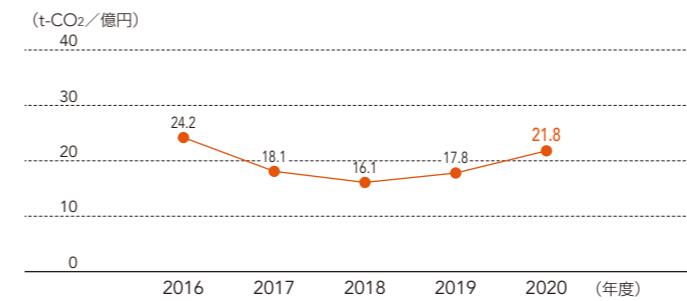
労働災害発生度数率



増減要因・解説

西松三重大事故型災害である「墜落・転落」「挟まれ・巻き込まれ」「飛来・落下」の防止に注力し成果を上げた一方、「転倒」「激突され」等のそれ以外の災害が多発し、前年度より災害が減少したものの、「中期経営計画2020」の目標を達成することはできませんでした。

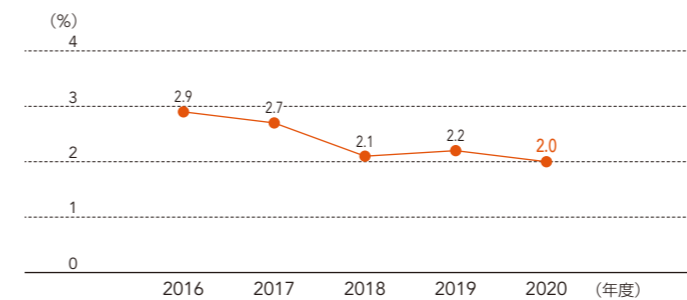
施工におけるCO2排出原単位



増減要因・解説

施工現場にて一定量の削減は果たしましたが、土木においては最盛期の工事が多く、建築においては大規模現場の大量の残土掘削・場外搬出があり、軽油使用量が増加しました。この影響により、CO2排出量が増加しました。

建設廃棄物の最終埋立処分率



増減要因・解説

当社独自の分別ルールを徹底し、高レベルの分別を推進しています。またリサイクル率の高い産廃業者を選定するとともに、現場内での自ら利用等を推進した結果、最終埋立処分率を過去で最も低く抑えることができました。

※ 最終埋立処分率：
2017年度までは「建設汚泥および特管物など特殊なもの」を除く
2018年度からは「建設汚泥を含み特管物など特殊なもの」を除く